

株主の皆様へ

第**58**期 中間報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成21年9月30日

SUZUDEN CORPORATION
INTERIM REPORT 2010





株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

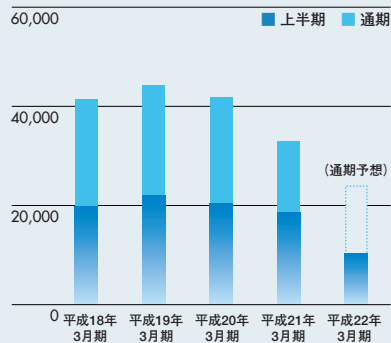
ここに第58期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の報告書をお届けいたします。

当社の主力顧客であります電気機器・電子部品・産業機械業界では、前期の第3四半期から鮮明となった生産調整や設備投資の抑制が継続し、当第1四半期では一層下振れしたことで、売上高は前年同四半期比で半減し、営業利益・経常利益・純利益は損失を計上する結果となりました。

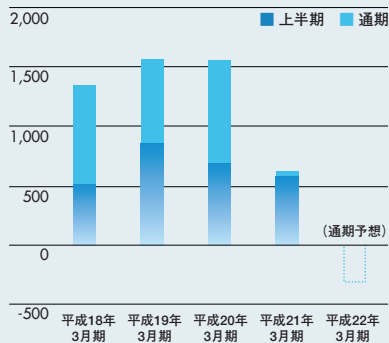
当第1四半期を底に当第2四半期からは、生産活動に若干回復の兆しが見え始め、設備投資も本格的な回復までには至っていないものの、景況に若干明るさが見えてまいりました。

こうした環境のもと、当社ではこれまで行ってきた顧客満足

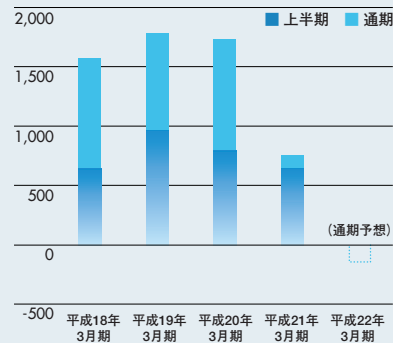
売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



度向上のための施策を継続・発展させるとともに、今期から「リバース・スズデン」のスローガンを掲げ、さらなる販売力強化と商品や販路の拡大、収益構造の変革等を行い業績の向上を図ってまいりました。

経費面では、緊急対策として役員報酬や管理職給与の減額、その他人件費の見直し等を実施し、その他の販売費及び一般管理費につきましても見直しを進め、利益の確保に努めてまいりました。

以上のように販売面と経費面から様々な施策を実施した結果、当第2四半期では当第1四半期と比べ増収増益となり、利益を確保することができましたが、当第2四半期累計期間の業績は、当第1四半期の損失をカバーするまでには至らず、売上高、営業利益、経常利益、純利益ともに予想を下回る結果となりました。

また、中間配当金につきましては、誠に遺憾ではございますが、すでに公表いたしましたとおり無配とさせていただきます。

今後の景況に関しましても当第2四半期累計期間と比べると生産や設備投資の回復が見込めるものの、本格的な回復には至らず、調整が継続するものと見込んでおり、厳しい状況が続くものと思われませんが、売上高、利益率向上のための各施策の確実な実施と緊急対策の継続や販売費及び一般管理費の一層の削減を行い収益向上に努めてまいります。

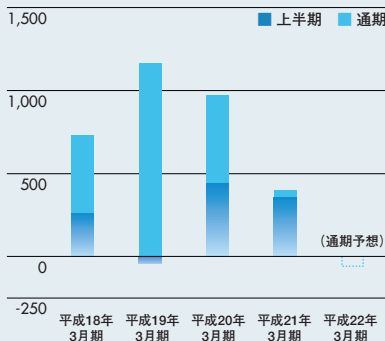
当社は、「もの造りサポートینگカンパニー」として、市場が収縮する中でも売上・利益を向上させていける体制を構築し、企業価値の最大化をさらに追求してまいります。

株主の皆様には、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

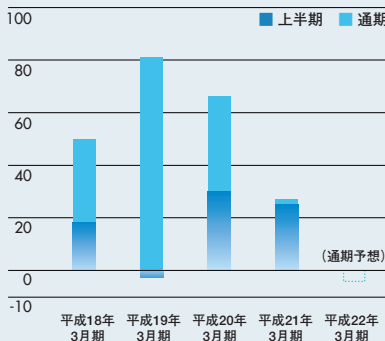
平成21年12月

代表取締役社長 佐々木 秀明

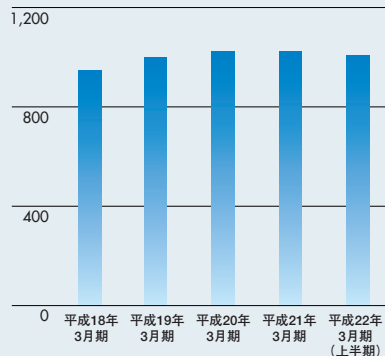
■ 純利益 (単位:百万円)



■ 1株当たり純利益 (単位:円)



■ 1株当たり純資産 (単位:円)



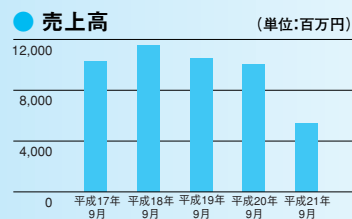
FA機器分野

制御機器、センサー、PLC、表示機器、コントロール機器等の販売が大幅に減少し、売上高は53億45百万円（前年同四半期比46.8%減）となりました。

なお、当第2四半期会計期間の売上高は、29億45百万円となり、当第1四半期会計期間に比べ22.7%増加いたしました。



売上高
5,345 百万円
(構成比 51.5%)

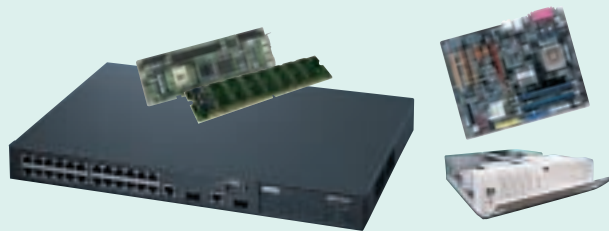


売上高
10,38 百万円

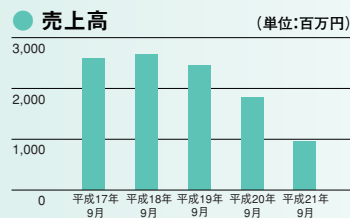
情報・通信機器分野

組込用ボードコンピュータ、パソコン本体等が大幅に減少し、売上高は9億61百万円（前年同四半期比47.2%減）となりました。

なお、当第2四半期会計期間の売上高は、5億10百万円となり、当第1四半期会計期間に比べ13.4%増加いたしました。



売上高
961 百万円
(構成比 9.3%)



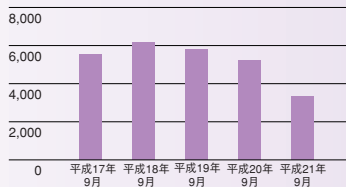
電設資材分野

売上高 **3,291** 百万円
(構成比 31.7%)

ケーブルアクセサリ、電線・ケーブル、ボックス等が大幅に減少し、売上高は32億91百万円(前年同四半期比37.3%減)となりました。

なお、当第2四半期会計期間の売上高は、17億50百万円となり、当第1四半期会計期間に比べ13.7%増加いたしました。

● 売上高 (単位:百万円)



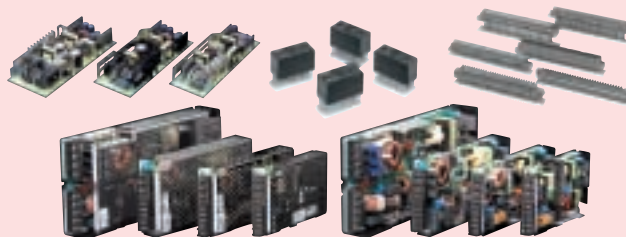
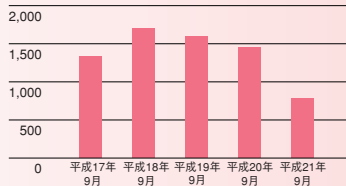
2 対前年同四半期比
44.1%減

売上高 **783** 百万円
(構成比 7.5%)

コネクタ、基板搭載用電源等が大幅に減少し、売上高は7億83百万円(前年同四半期比45.9%減)となりました。

なお、当第2四半期会計期間の売上高は、4億39百万円となり、当第1四半期会計期間に比べ27.6%増加いたしました。

● 売上高 (単位:百万円)



通期の見通し（連結）

（単位：百万円）

	通期業績予想 （平成22年3月期）	前期比	前期実績 （平成21年3月期）
売上高	23,700	△28.3%	33,034
営業利益	△260	—	620
経常利益	△141	—	746
当期純利益	△59	—	399
配当金	—	—	年間14円

当社を取り巻く環境

半導体・液晶製造装置関連機器メーカー 産業機器メーカー

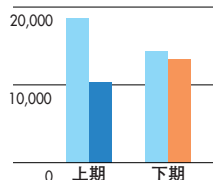
第2四半期累計期間と比べると生産や設備投資の回復は見込めるが、本格的な回復には至らず調整が継続



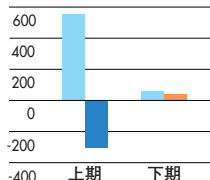
業績は回復基調と予想するが、第2四半期累計期間の損失のカバーまでには至らないと見込む

■ 上期と下期の比較 ■ 平成21年3月期（実績） ■ 平成22年3月期 上期（実績） ■ 平成22年3月期 下期（見込）（単位：百万円）

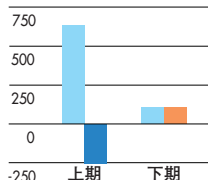
【売上高】



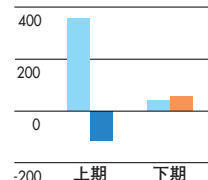
【営業利益】



【経常利益】



【純利益】



新製品のご案内

お買い求めは、当社通販サイト「FAUbon」(<http://fa-ubon.jp/>) をご利用ください。

● LED電球



三菱電機

消費電力は、白熱電球と比べて約7分の1！
白熱電球用ソケット（E26口金タイプ）にご使用いただける60W電球相当の照度を持ったLED電球です。



東芝ライテック

寿命は一般電球の約40倍の40,000時間！
一般電球に代替可能な大きさ・形状です。



パナソニック

業界No.1の省エネと同時に業界最軽量、最小サイズを実現！
さらにこれまで電球形蛍光灯に取り替えができなかった点を大幅に改善した小形電球タイプや、調光器対応タイプを含めた8種類です。

● ハンディー・ワークライト



UBON

高輝度LEDを80個使用したハンディーライトです。
回転式マグネットによる高操作性で、吊り下げにも対応。
省電力タイプの長時間点灯です！

■ 環境に配慮した事業活動を徹底し、環境保全の輪を広げます。

当社は、「もの造りサポーティングカンパニー」として、地球の環境保全に取り組むことが、当社の持続的な発展のために最も重要な事項のひとつであると認識しています。

本社及び物流センターは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しており、今後も当社の事業活動においてペーパーレスや廃棄物の低減などの取り組みを継続していきます。また、多くの企業に環境保全を広める活動として、販売活動や商品・サービスを通じて環境問題に取り組んでいきます。

■ 「事業活動」の中から発生する「エネルギー」、「ペーパー」、「廃棄物」の量を低減し、リサイクル社会に貢献

- 事業活動の環境への影響を評価し、環境負荷低減を推進
- 商品・サービスの環境への配慮

■ 地球温暖化抑制に関わる活動推進

- アイドリングSTOPの徹底
- 物流活動における環境負荷低減（通い箱納品の推進等によるエコ物流の実現）
- 「チーム・マイナス6%」への参加

■ 既存事業の環境への配慮

- リサイクル活動の推進
- 廃家電・小型二次電池リサイクル活動の推進

環境負荷の低減と
環境マネジメントの徹底

「ISO14001」認証取得
・認証取得日
平成14年3月13日
・適用範囲
本社及び物流センター

業務に対する取り組み

販売商品・サービス事業に対する取り組み

■ 「環境配慮型商品」を販売することで環境負荷を低減します。

- 新規事業の環境への影響を評価
- 商品・サービスの環境への配慮

■ 「循環型機能商品」としてスズデン「安心サービス&サポート」をご提供します。

環境配慮型商品と
循環型機能商品の販売展開



- あたり安心サービス
- エネルギー（乾電池・バッテリー）安心サービス
- フィルター安心サービス
- グリーンサービス
- ラップコートサービス

- グリーン購買サポート
- 診断サポート
- 再資源化サポート
- 物流サポート
- クリーンエネルギーサポート

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,869,085	14,199,634
固定資産	9,026,268	9,055,464
有形固定資産	7,680,331	7,728,343
無形固定資産	164,743	170,707
投資その他の資産	1,181,193	1,156,413
資産合計	22,895,353	23,255,098
負債の部		
流動負債	4,165,816	4,606,824
固定負債	4,072,571	3,847,009
負債合計	8,238,387	8,453,834
純資産の部		
株主資本	14,637,893	14,839,864
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,532,607	1,532,607
利益剰余金	11,507,376	11,709,347
自己株式	△221,320	△221,320
評価・換算差額等	19,072	△38,600
其他有価証券評価差額金	30,460	△21,775
為替換算調整勘定	△11,388	△16,825
純資産合計	14,656,966	14,801,264
負債純資産合計	22,895,353	23,255,098

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

Check Point

資産合計

資産は、前期末と比べ3億59百万円減少しました。
これは主に、現金及び預金が12億88百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金の減少15億14百万円、在庫の減少47百万円によるものであります。また、有形固定資産は取得及び売却等があり、減価償却費と合わせて48百万円の減少となりました。

負債合計

負債は、前期末と比べ2億15百万円減少しました。
これは主に、借入金の増加2億47百万円、支払手形及び買掛金の減少2億47百万円、東京物流センターの設備資金にかかる一部未払額1億93百万円が当期に支払われ、未払金が減少したことによります。

純資産合計

純資産は、前期末と比べ1億44百万円減少しました。
これは主に、保有株式の時価回復による其他有価証券評価差額金の増加52百万円、利益剰余金の動向として配当金の支払による減少87百万円、当第2四半期連結累計期間の四半期純損失の計上1億14百万円によるものであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純損失1億37百万円、仕入債務の減少2億48百万円の減少要因、売上債権の減少15億16百万円、たな卸資産の減少48百万円の増加要因により12億54百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の満期到来による資金の純増10億円、有形固定資産の売却による資金の増加3億45百万円、宮城県黒川郡大和町の土地購入資金を中心とした支出による資金の減少4億63百万円により8億87百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の調達5億円及び長期借入金の返済2億53百万円、配当金の支払87百万円により1億43百万円となりました。

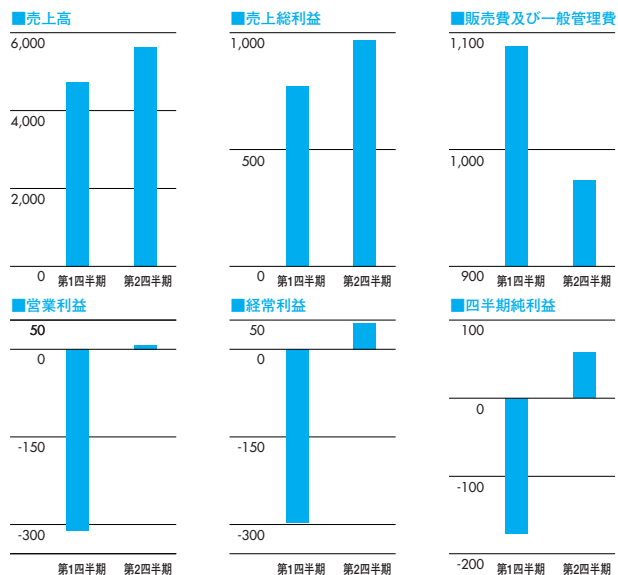
■ 連結損益計算書

(単位:千円)

	当第2四半期(累計) 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	前第2四半期(累計) 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
売上高	10,382,044	18,561,804
売上原価	8,631,008	15,554,975
売上総利益	1,751,035	3,006,828
販売費及び一般管理費	2,055,003	2,448,080
営業利益又は営業損失(△)	△303,967	558,748
営業外収益	100,434	134,345
営業外費用	46,769	56,734
経常利益又は経常損失(△)	△250,303	636,359
特別利益	155,557	1,708
特別損失	42,879	4,856
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△137,625	633,211
法人税、住民税及び事業税	13,548	241,789
法人税等調整額	△36,904	33,450
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114,268	357,970

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

■ 平成22年3月期第1四半期と第2四半期の比較 (単位:百万円)



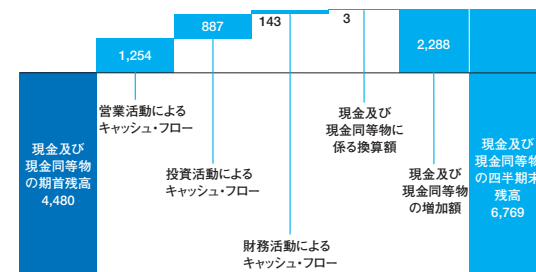
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期(累計) 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	前第2四半期(累計) 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,254,311	1,521,781
投資活動によるキャッシュ・フロー	887,568	△641,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,673	△1,112,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,190	1,135
現金及び現金同等物の増・減(△)額	2,288,744	△231,406
現金及び現金同等物の期首残高	4,480,718	4,698,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,769,462	4,467,068

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

■ キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



会社概要

社名	スズデン株式会社
英文社名	SUZUDEN CORPORATION
創業	昭和23年1月
設立	昭和27年12月
資本金	1,819,230,000円
従業員数	362名
主な事業内容	FA機器、情報・通信機器、電子・デバイス機器、電設資材等の販売及び輸出入業務
連結子会社	スズデンビジネスサポート株式会社 SUZUDEN SINGAPORE PTE LTD SUZUDEN HONG KONG LIMITED (鈴電香港有限公司) 斯咨電貿易(上海)有限公司 (SUZUDEN TRADING (SHANGHAI) CO.,LTD)

取締役・監査役

代表取締役会長	鈴木敏雄
代表取締役社長	佐々木秀明※
取締役副社長	臼田憲利※
取締役	平野利晴※
取締役	鈴木木茂信※
取締役	今泉嘉総一郎※
取締役	松崎伸晃※
取締役	浅井山晃也
常務監査役	加都隆茂
監査役	都築杉井邦義
監査役	桃井邦義

(注) 1. ※印は執行役員を兼務しています。

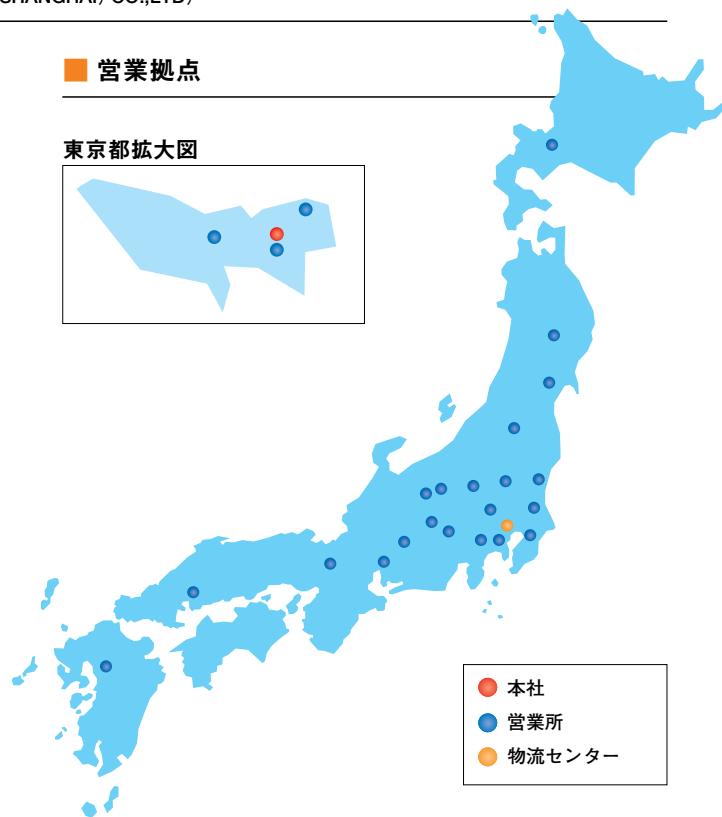
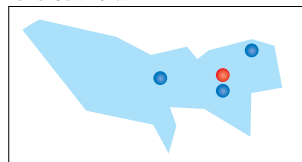
2. 監査役 都築隆也、杉山茂、桃井邦義の3氏は、社外監査役です。

執行役員

執行役員社長	佐々木秀明
上席執行役員副社長	臼田憲利
上席執行役員	平野利晴
上席執行役員	鈴木木茂信
上席執行役員	今泉嘉総一郎
上席執行役員	松崎伸晃
上席執行役員	浅井山晃也
執行役員	春日忠司
執行役員	岩沢祐二
執行役員	山崎博和

営業拠点

東京都拡大図



- 本社
- 営業所
- 物流センター

株式の状況

発行可能株式総数	47,590,000株
発行済株式の総数	15,152,600株
株主数	5,970名

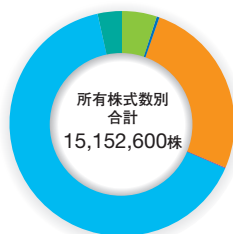
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
鈴木 敏雄	1,973	13.0
ベル株式会社	1,470	9.7
オムロン株式会社	1,329	8.8
岡野 妙子	754	5.0
鈴木 達夫	732	4.8
鈴木 たか	706	4.7
スズデン社員持株会	291	1.9
株式会社サンセイテクノス	250	1.6
梶山 勝嗣	245	1.6
岡野 淳志	182	1.2

(注)当社は自己株式535千株(出資比率3.5%)を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

所有株式数別分布

	株	比率
金融機関	762,100	5.0%
証券会社	63,055	0.4%
その他の国内法人	3,936,112	26.0%
外国法人等	15,786	0.1%
個人その他	9,840,007	65.0%
自己名義株式	535,540	3.5%



株主優待制度

① 対象者

当社決算期末の3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象とさせていただきます。(年1回実施)

② 贈呈内容

保有年数	優待商品
当社株式保有年数が2年に満たない場合	QUOカード(1枚1,000円)1枚
当社株式保有年数が2年を超える場合	QUOカード(1枚1,000円)2枚

③ 贈呈の時期及び方法

毎年、当社決算期末の3月31日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、7月上旬までに発送いたします。

④ 保有基準の確認

毎年、当社決算期末の3月31日を基準として、過去2年間の中間期及び期末期において、継続して所有し、株主名簿に同一株主番号として記載された株主様といたします。

(例)平成22年3月期末における2年を超える保有の確認は、平成20年3月31日の株主名簿から平成22年3月31日までの中間期・期末期の株主名簿に同一株主番号として記載された株主様といたします。(次回以降も毎年決算期末の3月31日を基準として、同様の方法で確認いたします。)

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
剰余金の配当の基準日	1. 期末配当 3月31日 2. 中間配当 中間配当を実施するときは9月30日
単元株式数	100株
基準日	1. 定時株主総会については3月31日 2. その他必要がある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.suzuden.co.jp/)

○ 上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、お支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。

配当金を配当金額収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成22年1月中旬に「支払通知書」を送付いたしますのでご確認ください。

(なお、口座振込または株式比例配分方式を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

▶ ホームページのご紹介

投資家の皆様に、充実したIR情報をいち早くお届けします。

投資家の皆様に、より詳しい情報や新しい動きをお届けするホームページです。最新情報や財務データなど各種資料はもとより、月次の売上実績に加え、株式諸手続きのご案内など充実した内容しております。皆様のアクセスをお待ちしております。



<http://www.suzuden.co.jp/ir/index.html>

平成22年3月期の展示会のご案内

展示会名	開催日	開催場所
ESEC (組込みシステム開発技術展)	平成21年5月13日～ 15日(終了)	東京ビッグサイト
FOOMA JAPAN 2009 (国際食品工業展)	平成21年6月9日～ 12日(終了)	東京ビッグサイト
セミコン・ジャパン2009	平成21年12月2日～4日	幕張メッセ



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目2番2号
TEL 03-5689-8001 FAX 03-5802-6764
ホームページアドレス <http://www.suzuden.co.jp/>
FA Ubonアドレス <http://fa-ubon.jp/>



本冊子は環境に配慮し、再生紙と大豆油インクを使用しています。